

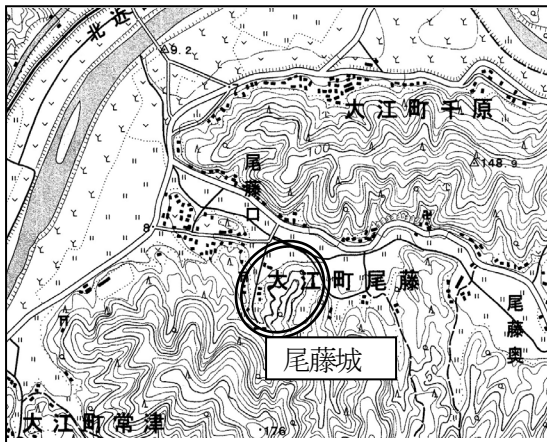
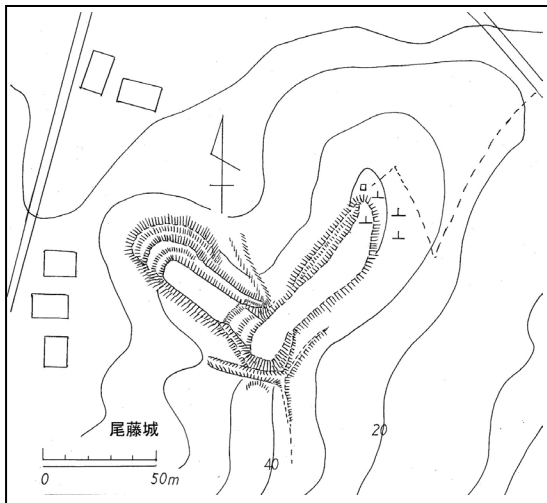
びとうじょう
No.133 尾藤城

福知山市大江町尾藤小字風呂ヶ谷

- ・遺構---曲輪、堀切
- ・占地---尾根 ・標高---40m ・比高---30m
- ・遺跡地図番号---大江町77

この城は尾藤集落の南東、陣取山から北へ派生した尾根の先端に位置する。遺構は、尾根先が二股になる部分を堀切で遮断し、北東尾根へ長さ80m西北尾根へ60mの曲輪を造成している。北東尾根の先端は墓地になっており、その他の曲輪も畑地として利用していた可能性がある。

近世地誌類によると城主は長野市正政廉あるいは尾藤市正という。



なつまじょう
No.134 夏間城

福知山市字箆巻他小字ハツ山他

- ・遺構---曲輪、堀切、堅堀、畝状空堀群
- ・占地---山頂 ・標高---150m 比高---140m
- ・遺跡地図番号---大江町80

この城は夏間集落南方の尾根上にあり、かつての丹後・丹波の国境に位置している。城館からの展望はすばらしく、由良川流域が一望できる。尾根を堀切で遮断し、長さ60m程に渡って三段の曲輪を造成している。西側の尾根先には畝状空堀群を敷設している。曲輪の北東側堀切の30m先にも径5m程の円形の曲輪があり、北と東に小規模な堀切を敷設している。

夏間集落とは距離があり、城主も不明である。

